

プログラム名 (40字以内)	創造的復興及び未来を担う人材育成プログラム		
団体名/所属	東京大学社会連携本部・FS能登町支援チーム、石川県能登町、日本航空株式会社		
活動区分	就労体験活動	希望する選考方法	書類審査、オンライン面接審査
募集人数	5名	選考対象	学部学生・大学院学生
活動方法	能登町の中学生・高校生との協働を通じて、石川県能登町、被災地・未災地への訪問を中心に、オンラインでの打ち合わせも織り交ぜ、通年で活動します。		
参加者に求めるもの	<p>本学の学部(前期・後期課程)又は大学院研究科・教育部に在籍する正規課程生を対象といたします。以下のすべての活動日程に原則参加できること。参加にあたっては、能登町の関係人口として、自身が「創造的復興※」に携わる気持ちをもっていること、それに加えて、今後起こりうる災害に対応できる、復興人材へと成長することを望む方に参加していただきたいと考えています。</p> <p>また、プログラムを通じて出会う官民学の幅広い関係者とのネットワーキングを通じて、積極的に学ぼうとする意欲を持つ方を歓迎します。</p> <p>※「創造的復興」とは、単に被災前の姿に復元するのではなく、元々あった課題を踏まえ、未来志向に立って以前よりも良い状態へと持っていく復興を意味します。</p>		
活動期間	<p>◎事前オリエンテーション(原則参加必須)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン開催 ・所要時間:1時間程度 ・2026年6月中の金曜日 17:00~18:00 ※調整中 <p>◎現地活動(原則参加必須)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼東日本大震災の被災地訪問 ・2026年8月4日(火)~7日(金)@岩手県大槌町釜石市 ▼現地活動@能登町 ・2026年9月15日(火)~18日(金)@石川県能登町 ・2026年11月 @石川県能登町 ・2027年2月16日(火)~18日(木)@石川県能登町 ▼未災地訪問 ・2月または3月で調整 ※すべての日程は現時点の予定で、変更の可能性あり。 <p>◎オンラインでの活動(可能な限り参加)</p> <p>月一回を目安として、能登町・日本航空それぞれの担当者の方や能登町の中高校生とのミーティングを実施します。</p> <p>また、本プログラム参加学生間でのミーティング等は自主的に行なうことを想定しています。</p> <p>○関連現地活動(参加推奨)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2026年7月3日(金)~5日(日)あばれ祭り@石川県能登町 →詳細は書類選考通過後の面接時にお伝えします。 	<p>主な活動予定場所</p>	<p>石川県能登町(計3回)、被災地・未災地(今年度は東北地方、南紀白浜を予定)、東京大学のキャンパス(能登町関係者を受け入れ)</p> <p>※原則として、ここに日程が表示されている全ての活動日程に参加できることを応募の条件としますが、正課等の都合によりどうしても欠席せざるを得ない日程がある場合は、応募用フォームの備考欄にご記入ください。</p>
プログラム実施の目的	能登町の中学生・高校生と本学学生とが学びあう教育プログラム実施を通じて、能登町の復興支援活動を行うほか、過去に被災した地域等を訪問し、異なるバックグラウンドを有する者同士で互いに学びあうことで、将来の復興を担う人材となるための知見を体験的に得ることを目的としています。また、未災地域の訪問等を通じた発表・情報発信を通じて、能登町の復興から得られた学びを伝えていくことも目指します。		
具体的な内容(800字程度)	<p>東京大学の学生と石川県能登町は、平成29年のフィールドスタディ型政策協働プログラム(FS)創設時より、地域課題解決のための協働を続け、密接な関係を築いてきました。令和6年1月に能登半島地震が発生した際には、過去に能登町でのFSに参加した本学学生が中心となって、被災地域となった能登町に対して、「FS能登町支援チーム」を立ち上げ、様々な支援活動を行ってまいりました。これまで能登町での活動に関与した学生は、延べ180人以上です。</p> <p>能登町でチームとともに活動してきた日本航空株式会社は、「青空留学」事業として、一次産業の現場へ学生を派遣する事業を実施してきました。このプログラムは、「青空留学」の枠組みをベースとして、日本航空株式会社の社員が伴走しながら、能登町の中高校生と本学学生とが複数のフィールドで学びあう教育プログラムです。本学からは、責任教員である秋山聡社会連携副本部長をはじめとする教職員、FS能登町支援チーム学生・卒業生が、参加学生のサポートを行います。</p> <p>■ 年間スケジュール概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 8月4日~7日 東日本大震災の被災地訪問 9月15日~18日 能登高校 総合的な探究の授業・町内中学校 キャリア教育授業に参加、能登半島地震からの復興状況ヒアリング等 9月下旬~ 能登高校 総合的な探究の授業伴走支援(オンライン等) 11月 能登高校 総合的な探究の授業対面参加・伴走支援 2月17日 能登高校 総合的な探究の授業 発表会 2月または3月 南海トラフ地震被災想定自治体訪問 <p>■ 現地で予定されている活動</p> <p>以下の活動一例であり、訪問場所・訪問時期によって活動は異なります。</p> <p>○能登町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内中学校のキャリア教育や海洋教育の授業に参加 ・能登高校 総合的な探究の授業に参加し、継続的な伴走支援を行う <p>○被災地・未災地訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能登高生とともに東日本大震災の被災地訪問(岩手県大槌町釜石市を予定)を通して、復興過程を体感しながら能登の未来を展望する ・能登高生とともに南海トラフ地震被災想定自治体訪問し、能登高生が能登半島地震の経験を発表する場を運営する <p>■ FS能登町支援チーム主催の関連プログラム(任意参加)</p> <p>このプログラムに関連して、能登町にて「あばれ祭り」に参加する企画を実施します。参加は必須ではなく、任意となりますが、応募の際に、こちらのプログラムについても出欠意向を確認します。能登町の歴史文化を理解する機会となりますので、積極的な参加を期待します。詳細は、選考面接の際にお伝えします。</p>		
【総額】参加するための費用	原則自己負担なし(交通費・宿泊費その他雑費相当の活動支援金を事務局より支給します。一部航空券等の現物支給あり)		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	原則自己負担なし(交通費・宿泊費その他雑費相当の活動支援金を事務局より支給します。一部航空券等の現物支給あり)		
【内訳】参加するための費用(交通費)	原則自己負担なし(交通費・宿泊費その他雑費相当の活動支援金を事務局より支給します。一部航空券等の現物支給あり)		
【内訳】参加するための費用(その他)	現地での飲食等にかかる費用などは自己負担となります		
備考	<p>本学と能登町、日本航空株式会社による「創造的復興及び未来を担う人材育成に関する連携協定」に基づいて、このプログラムは実施されます。プログラムに係る費用は、日本航空株式会社、能登町、東大FS能登町支援チームからの支援により、原則自己負担はありません。東京大学の本取り組みに係る運営費用は以下の東京大学基金により幅広く支援を募っています。</p> <p>各受け入れ先との調整を行う関係から、参加決定後のキャンセルは原則として認めません。内容をご理解のうえ、確実に参加する意思のある方のみお申し込みください。</p> <p>プログラム中に撮影された写真は、東京大学、石川県能登町、日本航空株式会社のHP、パンフレットなどの広報・プロモーション媒体で使用されることがあります。</p> <p>本プログラムは日本航空株式会社の採用活動とは関係ありません。一方で、参加者が日本航空株式会社への就職を制限されることもありません。</p> <p>実施後には、アンケートやヒアリングにご協力いただくことがあります。</p>		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	<p>FS能登町支援チーム公式Instagram: https://www.instagram.com/noto_choice_2022/</p> <p>FS能登町支援チーム公式note: https://note.com/notochoice</p> <p>能登町・東京大学・日本航空の連携協定: https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400287945.pdf</p> <p>本プログラムに係る東大基金: https://utf.u-tokyo.ac.jp/project/pjt217</p>		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	秋山聡教授(責任教員・東京大学社会連携副本部長)、石川県能登町企画財政課、日本航空株式会社、東京大学FS能登町支援チーム		